

中学生向けライフキャリア教育プログラム 「ライフキャリアすごろくで未来を体感！」指導者用資料

神奈川県福祉子どもみらい局共生推進本部室

1 目的

中学生に豊かなライフプランをデザインする機会を提供し、
男女とも固定的性別役割分担意識にとらわれず、
自ら望む働き方・生き方を選択する力を育成する

2 期待される効果

- ・男女共同参画への理解
- ・固定的性別役割分担意識（男性は仕事、女性は家事という考え方など）の解消
- ・自らが望むライフキャリア（生涯にわたる生き方）の明確化、
ライフプランをデザインできる力の育成

ライフキャリアとは

「ライフキャリア」とは、仕事をはじめ、家庭生活、地域社会とのかかわりなど、生涯にわたって自分が果たす役割や経験の積み重ねのことです。

先生方も、中学校においては「教員」ですが、家庭では「夫／妻」、お子さんがいらっしゃれば「父親／母親」又は、自身の親にとっての「子ども」、地域では「市民」「町内会役員」など、色々な役割が積み重なっています。

人生の様々な節目で岐路に立ち、進路や自分の担う役割を選択する際に、「男だから・・・すべき」「女だから・・・してはいけない」など、性別に基づく固定的な役割分担意識に捉われることなく、自分らしい豊かな人生をデザインする力を持つことができるよう、県は「ライフキャリア教育」の推進に取り組んでいます。

「キャリア」と聞くと、どうしても「狭義のキャリア＝仕事」をイメージしがちですが、社会に出る前の早い時期から「広義のキャリア＝ライフキャリア」を意識し、将来起こり得る進学、就職、結婚といったライフイベントについて学びつつ、自身の個性や適性を生かした働き方・生き方を考えることには、深い意義があります。



3 プログラムの概要

- このプログラムは、特別活動における学習（例：進路・キャリアについて考える学習や、職場体験活動の導入や振り返り）等でご活用いただくことを想定しています。
- 35歳までの人生をたどるすごろくゲームです。
2人1組のペアとなり、ジャンケンをしながらすごろくを進めていきます。



早くゴールすることが目的ではありません。

生徒たちが、近い将来起こるかもしれないライフイベント（進学、就職、結婚など）について想像し、「ライフ」（生活）と「キャリア」（仕事）の両面について、将来を考えるきっかけを作ります。

- すぐろくの目には、「進学」、「就職」などの大切なライフイベントがあり、「★STOP」というマスでは必ずストップして、選択肢の中から進むルートを選びます。



男性だから、女性だからといった固定的な性別役割分担や、「一般的にこうするものだから」「両親はこうだったから」ということを基準とするのではなく、「自分はこうしてみたい」という気持ちを大事にして、「自分の価値観に一番近いもの」を選択します。

- 「選択肢の中に自分が選びたいものがない」ということもあるかもしれません。その場合も、「なぜそう思うのか」をきっかけに、自分は今後の人生で「どんなことを大切にしたいのか」、「やってみたいのか」を考えていきます。
- ゴールした後は、自分の選択をワークシートに書き込み、「なぜ、その選択肢を選んだのか」を考え、ペアとその考えをシェアします。お互いの価値観を知ることで、自分は今後の人生で「どんなことを大切にしたいのか」、「やってみたいのか」の考えを深めるとともに、他人の価値観を尊重することを学びます。**ただし、自分の選択や考えをシェアしたくない人がいる場合は、強制するものではありません。**

【留意事項】

- ◆ **すぐろくのマスは、あくまで起こり得るライフイベントの例を、考えるきっかけとして提示しています。**
例えば「結婚すること」や「子どもを持つこと」を強要するものではありません。
 - ◆ 同性同士の結婚は現在法的に認められていないこと、子どもがほしくても授からない場合もあること、他人に恋愛感情を抱かない人もいること等、このマスに書かれたことが全てではなく、多様な人がいることにも配慮をお願いします。
 - ◆ 高校時代③に「引きこもり」という表現があります。これは、「人生の中で、『ひとやすみ』の時期があってもよい」という意図で入れております。人生には多様なことが起こることを否定しないように配慮をお願いいたします。
 - ◆ **ワークシートでお互いの考えをシェアするにあたり、他人の選択・価値観を否定することなく、相手を尊重するようはたらきかけをお願いいたします。**
- ※ 様々な状況にある生徒に必要な配慮を行うため、内容について御意見・御要望があれば、本資料末尾に記載の問合せ先にお寄せください。

3 準備するもの

●学校側で準備するもの

- ・すごろくシート（A3カラープリント推奨 2人に1枚）
- ・ワークシート、補足情報（A4 1人に1枚ずつ）
- ※ワークシートや補足情報はカスタマイズが可能であり（「8 ワークシートのカスタマイズについて」参照）、A4両面1枚にまとめることも可能です。

●生徒が授業に持参するもの

- ・筆記用具（すごろくの駒になるもの＝消しゴム、鉛筆キャップなど小さめのものを含む）

4 教材の解説

●すごろくシート



○ 中学時代から35歳までのライフイベントを、すごろくゲームを楽しみながら考えます。シート右上の「ルール」に記載のとおり、早くゴールすることが目的ではなく、マス目に書いてあることをよく読み、考えながら進んでいただきます。

○ 2人1組（奇数の場合は3人1組のグループがあっても可）でじゃんけんをして進みます。「START」に記載のとおり、じゃんけんの結果により次のとおりに駒を進めます。

勝ち：2つ進む／負け：1つ進む／あいこ：やり直し

- 「ルール」記載のとおり「STOP」と書かれている次の4つのマス目は、大切なライフイベントなので、全員必ず止まります。「STOP」には複数の選択肢があるため、自分の価値観に近いものを選びます。選択肢を選ぶ際には、補足情報を参考にさせていただくこともできます。

【STOP】①進路／②就職／③結婚／④出産

- (1回休み)と書いてあるマス目に止まったら、1回休みますが、相手のジャンケンにはつき合います。
- 「家庭①」「子育て①」のマス目に出てくる黒地の吹き出しは、すごろく上の進路には影響はありませんが、将来の自分にも起こるかもしれない出来事と捉え、自分の価値観に近いものを選びます。

●ワークシート

ライフキャリアすごろくワークシート

[クラス] 年 組 [名前]

【STEP1】すごろくで「STOP」となっているライフイベントについて、自分が選択した結果と、選んだ理由や気づいたことを書いてみよう。自分が本当に選びたい選択肢がすごろくには書かれていなかった場合は、「なぜそれを選んだか？気づいたこと」欄に、自分が選びたかった選択肢も記入しよう。

【STEP2】すごろくを一緒にしたペアの意見も聞いてみよう。気づいたことをシートに書き込もう。

	【STEP1】 すごろくでの選択	【STEP1】 なぜそれを選んだか？気づいたこと	【STEP2】 ペアの意見、気づいたこと
進路	【STOP① 進路】 A : 大学へ進学 B : 専門学校へ進学 C : 地元企業へ就職 ※Cの人は就職欄にも記入しよう！	【考えるヒント】 進路を選ぶとき、何を大切にしたい？誰に相談しようと思っている？	
就職	【STOP② 就職】 A : 希望する仕事ではないが、よく知られている大きな企業に就職 B : やりがいを優先し、小さな企業で希望の仕事につく C : 憧れのYou Tuberなど、好きなことで独立する	【考えるヒント】 あこがれの人や、好きな仕事(職種・業界)はある？お金、安定、挑戦、人とかかわる、など、大切にしたいことはある？ * 職種の例: 営業、事務、企画など 業界の例: 金融、食品、ファッションなど	
結婚	【STOP③ 結婚】 A : 学生時代からおつき合っていた人と結婚する B : 仕事を通じて知り合った人と交際3ヶ月でスピード結婚！ C : 今は仕事が大切！結婚はしない ※A、Bの人は【家庭①】にも記入しよう！	【考えるヒント】 自分だったら…何歳でどんな人と結婚したい？それとも結婚はしたくない？	
出産(子育て)	【STOP④ 出産】 A : 1人目の子どもが生まれ、親としての幸せと責任を感じる B : 1人目が生まれた翌年に2人目が生まれ、一気にこぎやかに！ C : 子どもはまだまだ、先でいいかな ※A、Bの人は【子育て①】にも記入しよう！	【考えるヒント】 子どもは持ちたいと思う？思わない？どうしてそう思うのかも具体的に書いてみよう。	
働き方	【子育て①】 パートナーに「子育てのためにもっと仕事をセーブし家庭を大切にしてほしい」と言われる。どうする！？ ・仕事をやめる ・仕事を続ける ・仕事量や時間の融通がきく仕事に転職する	【考えるヒント】 子どもが生まれたら仕事はどうしたい？家事・育児はパートナーとどのように分担したい？それとも、仕事と家庭、どちらかを相手に任せたい？	
働き方	【ここはすごろくにはないけれど考えてみよう！】 結婚したら、子どもが生まれたら… A : 共働き B : 片働き(自分又はパートナーが専業主夫又は専業主婦)		

【STEP3】ゲームを終えて…将来をイメージして、これからやってみようと思ったこと、考えてみたいこと、感想などを書こう。

- すぐろくゲーム終了後、【STEP1】と書かれた2つの欄に、「STOP」のマス目で自身が選択した結果と選択した理由を記入します。その後、ペアで話し合う中で気づいたことを【STEP2】欄に記入します。
- 最後に、将来をイメージしてこれからやってみようと思ったことなどの気づきを【STEP3】欄に記入します。
- ワークシートはカスタマイズ可能です。詳しくは「8 ワークシートのカスタマイズについて」をご参照ください。

●補足情報



- 各ライフイベントに関する補足の情報を、データとともに記載しています。すぐろくの選択肢を選ぶ際や、選んだ理由を考える際の参考としてください。

補足情報	データ出典	出典 URL
【進路】Q. 高校生は何を重視して進路を決めているの？	(一社)全国高等学校PTA連合会・(株)リクルートマーケティングパートナーズ：高校生と保護者の進路に関する意識調査(2017年)	http://souken.shingakunet.com/research/2017_hogoya2.pdf
【就職】Q. 高校生はどんな理由で職業を選んでいるの？	県：高校生の男女共同参画意識に関する調査報告書(2014年)	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x2t/pub/p785385.html
【結婚】Q. 何歳くらいで結婚すると思う？	厚生労働省：人口動態調査(2022年)(母の年齢(5歳階級)別にみた年次別出生数・百分率及び出生率(女性人口千対))	https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00450011&tstat=000001028897&cycle=7&year=20220&month=0&tclass1=000001053058&tclass2=000001053061&tclass3=000001053064&result_back=1&tclass4val=0
【出産(子育て)】Q. 女性は何歳くらいで子どもを出産している？	(出生順位別にみた年次別母の平均年齢)	

補足情報	データ出典	出典 URL
【働き方】Q. 共働きと、片働きと、どっちが多いと思う？	【共働き世帯数と専業主婦世帯数の推移(妻が64歳以下の世帯)】 内閣府:男女共同参画白書(2023年)	https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r05/zentai/html/honpen/b1_s00_00.html
	【共働き世帯と片働き世帯の収入】 総務省:家計調査(2022年) (妻の就業状態, 世帯類型別、勤労者世帯・勤労者世帯(うち世帯主が60歳未満))	https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00200561&tstat=000000330001&cycle=7&year=20220&month=0&tclass1=000000330001&tclass2=000000330004&tclass3=000000330005&result_back=1&tclass4val=0

5 授業のイメージ

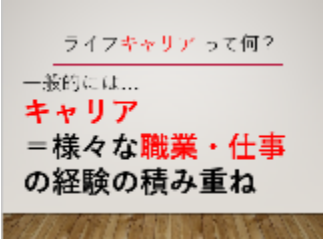
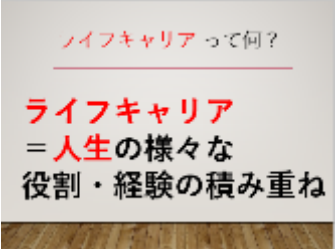

生徒が2人1組でペアとなり、ペアワークを中心として授業を展開します。
奇数でペアをつくれないう場合は3人1組でも実施可能です。
4名でも実施は可能ですが、ゲームおよびワークの時間を多く確保した方が良いでしょう。


- クラス単位で実施する場合
隣り合わせて、机を合わせて実施します。
- 学年単位など、大人数で実施する場合
視聴覚室、体育館などで、2人1組にして床に座って実施。
下敷きやボードなどがあると、記入がしやすいでしょう。

生徒2人で、1枚のすごろくシートを利用します。
ワークシートや補足情報は1人1枚配布して、
すごろくゲーム終了後にワークシートに記入してもらいます。
右のような配置が取れると良いでしょう。

6 時間配分・進行(例)の概要


	時間(分)	場面	形式	内容 【STEP〇】: ワークシート該当部分
①	5	導入・趣旨説明	講義	プログラムの目的の説明
②	5	ライフキャリアとは	講義	「ライフキャリアとは何か」の説明
③	5	すごろくの説明	講義	○すごろくの進め方やルール of 解説 ○ワークシートの記入について説明
④	20	すごろく	ペアワーク	○すごろくの実施 →ゴールしたペアから、次の「ワークシート記入」のステップへ移る。
⑤	5	ワークシート記入	個人ワーク	STOP で選んだ選択肢と、なぜそれを選んだのかを【STEP1】の各欄に記入する。
⑥	5	シェアタイム+ワークシート記入	ペアワーク	ワークシートに記入した内容をペアで話し合い、シェアする。気づいた部分はワークシートに記入する。【STEP2】
⑦	5	ワークシート記入(振り返り)	個人ワーク	気づいたことや、将来をイメージしてこれからやってみようと思ったことなどをワークシートに記入する。【STEP3】

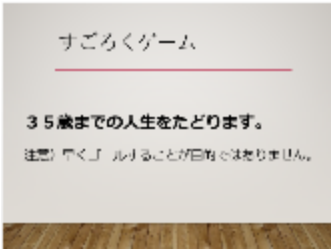


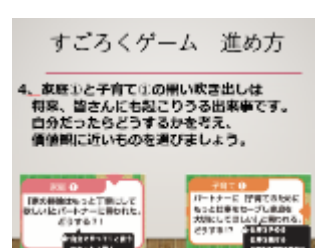
<p>P3 ライフキャリアって何？ ＝一般的には～</p> 	<p>○一般的には、「キャリア」とは、その人の「経歴」とか「経験」を言います。仕事の経歴、経験という意味で使われることが多いですね。</p> <p>○例えば、私のキャリアを、職業や仕事を積み重ねてきた経験という意味でお話すると、○○というような感じになります。</p> <p>○しかし、今日皆さんと考えていきたいのは「ライフキャリア」についてです。</p> <p>○「ライフ」とはどういう意味でしょうか。「人生」という意味ですね。</p>	<p>○ご自身の事例を入れてください。 (例) 大学で学び教員の免許を取得 →教員採用試験に合格 →○○中学校に配属 →何の教科を担当し、何年生を担当した経験があるなど</p>
<p>P4 ライフキャリアって何？ ＝人生の様々な～</p> 	<p>○ここでは、職業・仕事のことだけではなく、人生における様々な自分の役割についても考えてみたいと思います。</p> <p>○例えば、これから</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校や大学へ進学する ・就職する ・一緒に暮らしたい人と一緒に住む ・子どもを授かって育てる <p>というようなことがあるかもしれませんが、それらも「ライフキャリア」の一つです。</p> <p>○その他にも、趣味を楽しんだり、地域活動やボランティア活動に参加したり、ということも考えられます。 自分らしい人生をこれから築いていくために、「キャリア」を、仕事部分に限らず、生活部分も含めた広い視点で考えてみたいと思います。</p>	
<p>P5 ライフキャリアって何？ ライフ・キャリアの虹</p> 	<p>○「虹」のようなこの図を、見たことがありますか？これは、アメリカでキャリアの研究をしていたドナルド・E・スーパーという人が考え出したものです。</p> <p>○キャリア＝職業とは考えずに、キャリアは、人生のある年齢や場面の様々な役割の組み合わせである、と定義したものです。それぞれの役割を、異なる色で示しています。</p> <p>○半円の一番外側は年齢を表しており、左が0歳、天辺が45歳、右が90歳となっています。</p>	<p>○先生の年齢の部分の役割も読み上げると、対比としてわかりやすいと思います。 (選挙権を行使できる)市民、(先生としての)労働者、家庭人などが当てはまってくると思われます)</p>

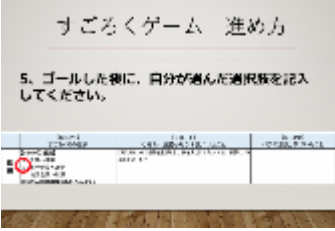
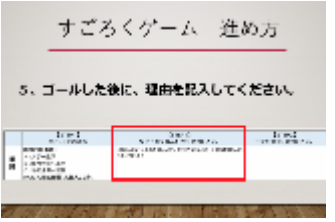
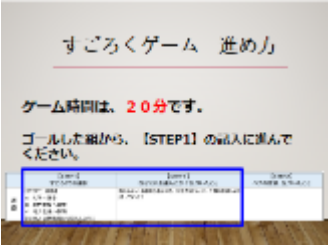

<p>P5 (つづき) ライフキャリアって何？ ライフ・キャリアの虹</p> 	<p>○内側には、役割が書かれており、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番内側の紫は子ども ・青が学生 ・緑が余暇人（趣味などの余暇を楽しむ人） ・薄い黄色が市民 ・濃い黄色が労働者 ・オレンジが家庭人 ・一番外側の赤がその他さまざまな役割となっています。 <p>○ここで、中学生の皆さんに当たる年齢（14歳のところ）に青い線を引いてみました。</p> <p>○内側から、当てはまっている役割を挙げると</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども」皆さんは、未成年の子どもとして、保護者の養育を受けていますね。一方お酒を飲めないなど、大人と同じ権利が認められていないという面もあります。 ・「学生」そして中学生です ・「余暇人」部活で好きなスポーツなどの活動をしたり、家で趣味の時間を楽しんだりしていますね <p>○このように、皆さんにも様々な役割があり、それらが重なって層になっている、ということが示されています。</p> <p>○今日は、すごろくゲームを通じて、35歳の自分をめざしてもらいます。 この図で見ると、35歳では、「市民」「労働者」「家庭人」という役割もありますね。</p>	
--	---	--

③ すごろくの説明【講義形式 5分】

巻末のスライドを投影するか、実際のすごろくシート、ワークシートを見せながら説明します。

スライド	内容の詳細	備考・留意点
<p>P6 すごろくゲーム 資料</p> 	<p>○2人に1枚、すごろくシート、1人に1枚、ワークシートはありますか？</p> <p>○それではすごろくゲームの進め方の説明をします。</p>	

<p>P7</p> 	<p>○このゲームでは、35歳までの人生をみなさんにたどって頂きます。</p> <p>○このすごろくは、どちらか先にゴールした方が勝ち、というような、早さを競うゲームではありません。</p> <p>すごろくのマス目に書かれていることをじっくり読んで、自分だったらどうするかなど、考えながら進めてください。</p>	
<p>P8</p> 	<p>○ペアでジャンケンをして駒を進めていきます。</p> <p>勝ったら 2マス 負けたら 1マス 進めてください。 あいこの場合はやり直してください。</p> <p>○どちらかが「1回休み」のマス目に止まっても相手のためにジャンケンをしてください。</p> <p>○ペアの一人が先にゴールした場合も、もう一人がゴールするまでジャンケンをしてください。</p>	
<p>P9</p> 	<p>○「STOP」と書いてあるマスは飛ばさないでください。大切なライフイベント（人生で起こる節目の出来事）です。</p> <p>選択肢の中から、自分が一番選びたいものを選んでください。</p> <p>○その時に、ぜひ大事にしてもらいたいポイントがあります。</p> <p>「男だから一家の大黒柱としてしっかり働き家族全員を養うもの」とか 「家事や育児は女の仕事」というような、性別により役割ややるべきことを決めつけない、ということ。</p> <p>○このことは、自身のライフキャリアを考える上でも大切で、そのような固定的な役割分担意識により、自分の将来の選択肢の幅を縮めてしまうことは、男女問わず大変勿体ないことです。</p>	
<p>P10</p> 	<p>○「家庭①」と「子育て①」のところに黒い吹き出しがあります。</p> <p>どの選択肢を選ぶかによって、すごろく上の進路には影響はありませんが、将来、皆さんにも起こるかもしれない出来事です。</p> <p>○自分だったらどうするかを考え、自分の価値観に近いものを選んでみましょう。</p>	

<p>P11</p> 	<p>○「STOP」のマス目で「自分ならどうする?」と問いかける場面がいくつか出てきます。その時に、「一般的にこうするものだから」「うちの親はこうだったから」ということを基準にせず、「自分はこうしてみたい」という気持ちを大事にして進めていってください。</p> <p>○選んだら、ワークシートのSTEP1 に忘れないように記録しましょう。</p>	
<p>P12</p> 	<p>○その後、ワークシートの「STEP2」と書かれている欄に記入する時間を5分間とります。(左のシートの青囲み部分) ゴールしたペアから、ワークシート記入へ移ってもらってかまいません。</p>	
<p>P13</p> 	<p>○これからすごろくゲームで20分とります。</p>	
<p>P14</p> 	<p>○自分の駒の準備はできましたか?</p> <p>○それではペアになって、すごろくゲームをスタートさせてください。</p> <p>○注意事項 仕事③マスは進学に、家庭④マスは出産のマスに戻るマスとなっています。戻るのに回数制限を設けていないため、生徒から質問があった場合や、すごろくを開始する前に、「〇回以上これらのマスに止まったら戻らなくてもよい」と伝えるなどの対応をお願いします。</p>	

④ すごろく [ペアワーク 20分]

○20分経ったら声がけをし、ワークシート記入に移ります。

早く終わってしまっているペアがいたら、【STEP1】のワークシート記入に移るよう促してください。

⑤ ワークシート記入〔個人ワーク 5分〕

- 【STEP1】欄（すぐろくでの選択／なぜそれを選んだか？気づいたこと）部分を記入します。
【STOP】の選択肢に、自分が本当に選びたいものがなかった場合は、【STEP1】欄（なぜそれを選んだか？気づいたこと）に、自分が選びたかった選択肢も記入しておきます。

○時間内に書けないペアがいても、5分経ったら一旦書くのをやめてもらいます

⑥ シェアタイム+ワークシート記入〔ペアワーク 5分〕

- 【STEP1】欄に記入したことを、ペアとシェアします。
その後、気づいたことを【STEP2】欄（ペアの意見、気づいたこと）に記入してもらいます。
【STEP2】欄は、ペアが話したことのキーワードを書き留めるような形でもかまいません。

○5分経ったら、ペアの話聞いて気づいたことについて、2～3人に発表してもらおうと、クラス全体でも気づきを共有できます。

⑦ ワークシート記入（振り返り）〔個人ワーク 5分〕

- 最後に、5分で、【STEP3】欄（ゲームを終えて）に記入してもらいます。
すぐろくシートを（先生が必要と思われるのであれば、ワークシートも）回収します。
- この時間を利用して、先生がライフキャリアについて、生徒たちに伝えたいことを「まとめ」として伝えていただいても良いでしょう。

例)

- すぐろくのように、これからの人生にはたくさんの選択肢があり、選んで行くことになります。
- その時に、「これでいいや」「これしかないや」と思わず、ぜひ、やりたいこと、大切にしたいことをその都度考えて、「これがいい」と納得して自分から主体的に選んで行ってください。
- もし「思っていたのとちょっと違った」というような出来事が起こっても、何が違ったのかが学びとなり、次のステップへとつながります。
- こうした選択の積み重ねに「自分らしさ」が出てきます。ぜひ、今日、気づいたこと、やりたいと思ったことを大切に、先に進む「行動」をとってください。

8 ワークシートのカスタマイズについて

- ワークシートの記入欄を減らして考える時間を多めにとる、又は別途生徒に考えさせたいテーマがあるため記入欄を増やす又は変更するなど、状況に合わせて記入欄をカスタマイズしていただいてもかまいません。
ワークシートのデータが必要な場合は、本資料末尾に記載の問合せ先にメールにてご連絡ください。

- 記入欄を追加すると、生徒の集中力が切れてしまったり、時間が足りなくなる可能性があります。
記入欄を減らす場合は、進路と就職に絞る、ワークキャリア（進路/就職）とライフ（結婚/出産）から1つずつ選んで残すなど、生徒に特に考えさせたいテーマを選ぶと良いでしょう。

○ワークシートのカスタマイズに伴い、補足情報も、適宜必要なものを選択してください。

※ワークシートはカスタマイズしていただいてもかまいませんが、すぐろくシートの修正はご遠慮ください。

<ワークシートの修正例> 就職、出産（子育て）、働き方を選択

●表面 ワークシート

ライフキャリアすごろく ワークシート

【クラス】 年 組 【名前】

【STEP1】すごろくで「STOP」となっているライフイベントについて、自分が選んだ結果と、選んだ理由や気づいたことを書いてみよう。自分が本当に選みたいライフイベントがすごろくには書かれていなかった場合は、「なぜそれを選んだか」や「気づいたこと」欄に、自分が選びたいライフイベントも記入しよう。

【STEP2】すごろくを一通りした後の感想も聞いてみよう。気づいたことをシートに書き込もう。

	【STEP1】 すごろくでの選択	【STEP1】 なぜそれを選んだか？気づいたこと	【STEP2】 ペアの意見、気づいたこと
就職	<p>【STOP① 就職】</p> <p>A：希望する仕事ではないが、よく知られている大きな企業に就職 B：やりがいを感じ、小さな企業で希望の仕事につく C：憧れのYou Tubeなど、好きなことで働く</p>	<p>【考えるポイント】あなたがやりたい、好きな仕事（職種）はありますか？ 安定、休憩、人のやりかた、など、大切にしたいことはあるか？</p> <p>*職場の例：営業、事務、企画など 業種の例：金融、食品、ファッションなど</p>	
出産（子育て）	<p>【STOP② 出産】</p> <p>A：1人目の子どもが生まれ、養育する責任と責任を感じる B：1人目が生まれた翌年に2人目が生まれ、一気にはげやかに1人目の子どもが2人増え、家で忙しい生活 C：2人目は【子育てで②】にも記入しよう！</p> <p>【子育てで②】 「パートで」子育てを自分たちでやるか、サービス業で夫婦にまかすか、などいろいろあるよ。 ・仕事をやめる ・仕事を続ける ・仕事量や時間短縮の取組がきく仕事に転職する</p>	<p>【考えるポイント】子どもは生まれたら仕事は辞めたいですか？ 専業主婦・専業主夫と決めたいですか？ それなら、仕事と育児、どちらを優先したいですか？</p>	
働き方	<p>【STOP③ 働き方】 結婚したら、子どもが生まれるから… A：共働き B：内職か自分又はパートナーが専業主夫又は専業主婦</p>		

【STEP3】ゲームを控えて1枚をマイナーにして、これかやってみようと思ったこと、書きたいこと、感想などを書こう。

●裏面 補足情報

ライフキャリアすごろく 補足情報

就職 Q. 高校生はどんな理由で職業を選んでいるの？

中学生の皆さんの少し先輩に当たる高校生のうち、将来つきたい職業に「ある」と回答した人に対して、「その職業につきたい理由」を質問した結果だよ。「自分のやりたい仕事だから」が最も多く、次いで「自分の能力や技術を生かしたいから」と、自己実現のために働きたいと思う人が多いみたいだね。一方で、「給料がよさそうだから」は1割未満で、給料を理由に職業を選ぶ人は多くないことがわかるね。

■ その職業に就きたい理由 (複数回答)

理由	割合
自分のやりたい仕事だから	47.7%
自分の能力や技術を生かしたいから	26.6%
将来性・安定性があるから	23.8%
給料がよさそうだから	10.6%
性別に関係なく活躍できる仕事だから	6.2%
休みが多く、余暇も楽しそうだから	6.2%
家事・育児・介護などの両立が可能だから	0.6%
わからない	0.6%
その他	0.6%

【データ出典】 高校生男女共同参画意識に関する調査報告書 (2014年)

出産（子育て） Q. 女性は何歳くらいで子どもを出産している？

女性の出産年齢の割合を約40年前と比較すると、30歳以上の出産割合が増えているね。また、女性が1人目の子どもを生む平均年齢は26.7歳から30.9歳となり、4歳上がっているよ。妊娠・出産に選んだ年齢は20代～30代前半までと言われているよ。30代後半からは、妊娠する確率や、妊娠しても無事に赤ちゃんが育たない確率が上がっていくんだ。

■ 女性の出産年齢の割合

年齢区分	1985年	2022年
19歳以下	1.2%	0.9%
20～24歳	17.3%	26.3%
25～29歳	47.7%	36.3%
30～34歳	26.6%	23.8%
35～39歳	0.6%	6.2%
40歳以上	0.6%	6.2%

【データ出典】 厚生労働省：人口動態調査 (2022年)

働き方 Q. 共働きと、片働きと、どっちが多いと思う？

1985年は、夫が働き妻が専業主婦という片働き世帯が多かったのに対して、1997年以降は共働き世帯が専業主婦世帯を上回り、増え続けていることがわかるね。ちなみに、共働きの方が、片働きよりも1ヶ月あたり12万円ほど実収入が高く、実支出も4万円ほど多いよ。

■ 共働き世帯数の推移

年	専業主婦世帯 (2020)	共働き世帯
1985	936	718
2022	430	1,191

【データ出典】 内閣府：男女共同参画白書(2023年) / 総務省：家計調査(2022年)

【問合せ先】
 神奈川県 福祉子どもみらい局 共生推進本部室 男女共同参画グループ
 【電話】045-210-3640 【FAX】045-210-8832 【e-mail】jinkendanjo.danjo@pref.kanagawa.jp